

ごみ排出量について

1 ごみ排出量の推移

令和2年4月から令和3年1月(10 か月間)のごみ排出量^{※8}は 55,069 t で、前年度同期間と比較すると、559 t (1.0%) 減少しました。

(単位:t)

項目/年度	平成31年4月~1月	【速報値】		
		令和2年4月~1月	増減分(t)	対前年度比(%)
人口(各年2月1日現在)(人)	231,604	230,276	▲ 1,328	▲ 0.6
世帯数(各年2月1日現在)(世帯)	110,151	110,944	793	0.7
※1 可燃ごみ	27,531	27,132	▲ 399	▲ 1.4
※2 不燃ごみ	2,699	2,968	268	9.9
※3 臨時ごみ	2,529	2,592	63	2.5
※4 家庭系可燃・不燃ごみ (A)	32,759	32,691	▲ 68	▲ 0.2
※5 事業系可燃ごみ (B)	14,242	13,308	▲ 934	▲ 6.6
可燃・不燃ごみ量計(C)=(A)+(B)	47,002	45,999	▲ 1,002	▲ 2.1
※6 家庭系資源ごみ	8,452	8,919	467	5.5
※7 事業系資源ごみ	174	151	▲ 24	▲ 13.5
資源ごみ量計(D)	8,626	9,070	444	5.1
※8 ごみ排出量(C)+(D)	55,628	55,069	▲ 559	▲ 1.0
※9 焼却処理量	46,679	46,151	▲ 529	▲ 1.1

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

2 家庭系ごみ・事業系ごみ別の排出量の状況

(1) 家庭系ごみ

可燃・不燃ごみ^{※4}は 32,691 t で、前年度同期間と比較し、68 t (0.2%) 減少しています。内訳として、可燃ごみ^{※1}が 399 t (1.4%) 減少し、不燃ごみ^{※2}が 268 t (9.9%)、臨時ごみ^{※3}が 63 t (2.5%) 増加しています。

また、資源ごみ^{※6}は 8,919 t で、前年度同期間と比較し、467 t (5.5%) 増加しています。

(2) 事業系ごみ

可燃ごみ^{※5}は 13,308 t で、前年度同期間と比較し、934 t (6.6%) 減少しています。

また、資源ごみ^{※7}は 151 t で、前年度同期間と比較し 24 t (13.5%) 減少しています。

(3) 焼却処理量

焼却処理量^{※9}は 46,151 t で、前年度同期間と比較し 529 t (1.1%) 減少しています。